

特集

越谷商工会議所の取り組み



越谷商工会議所
専務理事
遠藤 正市さん

昭和35年に設立された越谷市商工会が、本年4月に越谷商工会議所に生まれ変わりました。これにより、企業の相談や経営指導を専任して行う中小企業相談所の設置や、全国の商工会議所とのネットワークを生かした広域的な支援などが可能になりました。

他にも「これは越谷で作れたものです」という原産地証明を発行することができるようになりました。これは例えば、企業が海外へ製品を販売したいといったときなどに後ろ盾になります。このような取り組みを軸に、地元企業に密着した支援を行います。私たちへの期待も移行前より大きくなったと感じています。期待にしっかりと応えられるよう、多くの企業を支援できる体制を整え、産業の活性化に貢献してまいります。



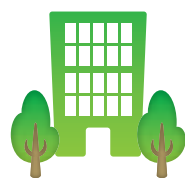
越谷商工会議所
中小企業相談所長
伊藤 猛さん

企業応援プラットフォームにおいては、越谷商工会議所はその代表機関として、取り組み全体の調整を行っています。具体的には、課題解決の第一歩として企業支援の専門家であるコーディネーターと連携し、相談内容に応じて適切な専門家や機関を紹介する

などしています。昨年度はプラットフォーム全体で5000件近い相談をお受けし、新商品の開発や企業間のマッチング、販路の拡大、事業の承継などさまざまな分野で支援を行いました。また、市内産業の軸となる企業の育成を目的に、現在、23の企業に対し継続的な支援もを行っています。今後は、これまで以上に各機関の連携を強化し、より充実した支援にあたっております。

また、長期的な支援が必要であれば専門家の方をご紹介するなどしています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

地域で連携した 企業支援



こしがや企業応援プラットフォーム

- 企業にはさまざまな業種、規模、経営の形態があり、特に支援が必要とされているのが中小企業です。
- 一般的に中小企業は大企業に比べて、
- 経営のノウハウが不足している
- 人材が不足している
- 企業間の交流や商談の機会が少ない
- ITなどのスキル不足により情報発信力が低い
- などといった問題を抱えています。



企業の情報交換やマッチングを目的に毎年開催しているビジネス交流会

成27年3月に設立しました。ここでは各機関が持つ強みを生かし、連携した支援を行うとともに、ワンストップ相談窓口の開設、セミナーや企業間交流イベントの開催、行政や経済団体・民間企業による支援情報の発信などを行っています。

経営や創業などの相談はまず「一番館へ！」

企業支援コーディネーターによる無料経営相談

産業雇用支援センター二番館では、企業支援の専門家（コーディネーター）による相談業務を行っています。

〈相談日時〉 毎週月曜・水曜・金曜日（祝日を除く）、午前9時～午後4時（正午～午後1時を除く。要予約）

〈予約受付・問合せ〉 産業雇用支援センター二番館 ☎967-2424



企業支援コーディネーター
堀口 隆広さん

コーディネーターから

二番館では、3人のコーディネーターが、企業支援・創業支援などそれぞれの得意分野を生かし相談をお受けしています。私自身、民間企業で長く営業を勤め、いくつもの事業に携わってきた経験があります。

相談を受けるにあたって、自社の経営課題が何なのか、はっきりと把握されていないような社長さんも少なからずいらっしゃいます。そこで私たちは、お話を伺うだけでなく、実際に現場を拝見することで、今その企業に足りていないものが販売戦略なのか、それとも人材育成なのかなどを整理し、アドバイスさせていただきます。さらに、整理した課題をコーディネーター間で共有することで、最適な支援を行えるように努めています。

また、長期的な支援が必要であれば専門家の方をご紹介するなどしています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

特集

越谷の 企業経営と 創業を支援する



現在、市内には商業・工業・農業など約1万1000の事業所があり、11万を超える人々が働いています（平成26年経済センサス基礎調査）。しかし、人口減少や少子高齢化など社会環境の変化により、地域産業はこれまでよりも厳しい状況を迎えることが予想されています。

市や関係団体等では、市内の企業が活発な事業活動を行ったり、創業を志している人がスムーズに事業を始められるよう、さまざまな支援を行っています。今回はこれらの支援策についてご紹介します。

問 産業支援課（産業雇用支援センター3階） ☎967-4680

本市の産業支援の拠点となっている産業雇用支援センターは、市内の産業の振興と雇用対策の強化を目的に、平成17年4月に開設されました。建物内には産業支援課をはじめ、ハローワーク越谷、シルバー人材センター、障害者就労支援センターが入り、産業と雇用に関するサービス

市内のものづくり 企業を1冊に まとめて紹介

市では市内の優れた技術や製品を持つ製造業80社の特徴や製品をまとめた「越谷ものづくり企業ガイドブック『CREATION & PRODUCTION』」を今年1月に作成しました。市内には世界シェアの3割を占めるような製品を作る企業などもあり、こ



製造業80社を紹介

の冊子をきっかけに、高い技術力を持った中小企業が市内外に広く知られることを目的としています。

特集

越谷の企業経営と創業を支援する

越谷での創業を支援する①

産業雇用支援センター「一番館」創業支援室

市では、経営者だけでなく、新たに事業を開始する创业者の支援も行っています。

中小企業庁の調査では、起業を志す理由として前向きな意見が多い一方で(表1)、経営の経験が無いことによる知識不足や専門的な技術が蓄積されていないこと、資金調達的手法に不安があるなど多くの課題が挙げられています(表2)。また、景気

の後退に伴い起業希望者も大幅に減少しています(図1)。そこで、これらの課題の解決に向けた市の取り組みをご紹介します。

事業が軌道に乗るまでを支援する「インキュベーション」施設

創業支援室は産業雇用支援センターに併設される形で平成17年度に開設され、新たに事業を

開始する方や、開始して間もない方を支援しています。

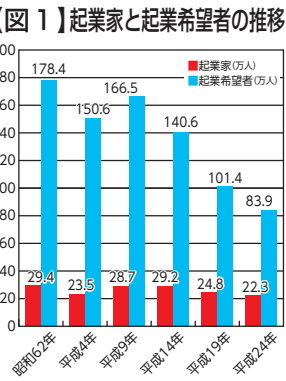
ここでは、オフィスを貸与しているほか、9ページで紹介した企業支援コーディネーターから経営に対する診断や助言などを受けられることにより、事業がうまく軌道に乗るよう支援する仕組みを整備しています。このような施設は英語で「卵をふ化する」という意味を持つ「イ

【表1】起業を志した理由 (主なもの) (%)

自分の裁量で仕事がしたいから	81.1
年齢に関係なく働くことができるから	74.5
仕事を通じて自己実現を図るため	66.8
性別に関係なく働くことができるから	64.4
趣味や特技を生かすため	57.1

【表2】起業準備者が直面している課題(主なもの) (%)

経営知識一般の習得	17.1
事業に必要な専門知識・技術の習得	16.3
資金調達	11.5
家族の理解	8.2
家庭との両立	4.5
特にない	15.5



上記の図表はいずれも中小企業庁「2014年版中小企業白書」から作成

創業支援室入居者の声



民間救急 ほほえみ 石村 恵さん

「ほほえみ」は、病院からの一時帰宅や転院、ちょっとした外出などをお手伝いする「民間救急」を平成27年4月に市内で初めて開始しました。起業そのものも大変でしたが、民間救急というものをどうしたら知ってもらえるかが大きな課題でし

た。コーディネーターから「こう展開してみてもはどうだろう」とアドバイスをいただき、少しずつですが頑張っています。ここでは同じ创业者の方と交流したり、経営者としての悩みを共有できたりするので励みになります。何より、困ったことはすぐコーディネーターに相談できるので安心です。



「外出したい」「自宅に立ち寄りしたい」といった要望に丁寧に対応する

創業支援室卒業者の声



ハナブサデザイン 花房 茂さん

私はデザイン業界で店舗の演出や製品の開発などを手がけていました。その経験を地域資源の活用やまちおこしに生かしたいと思い創業しました。入居中は多くの企画を考え、コーディネーターに支援していただきまし

た。その中で商工会議所では、観光協会、市の担当者から声をかけていただき、地域の方とつながりができました。まちおこしの仕事は人のつながりが何よりも重要です。経営や営業について相談できたのはもちろんですが、地域にスムーズに溶け込むことができたのは、創業支援室に入居したことのおかげです。



新聞などでも紹介された籠染灯籠(左)と母のかけジャム。質の良い商品をデザインの方でブランド化していく

越谷での創業を支援する②

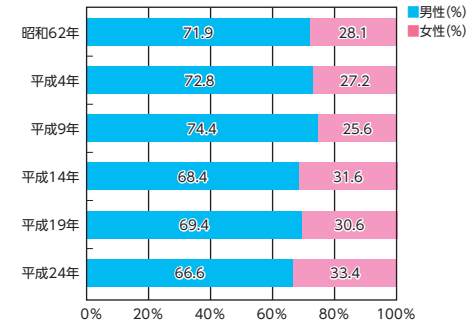
創業者支援補助金

市では、市内で新たに創業する方等へ、創業に係る経費(創業準備金)と事務所や店舗の家賃の一部を助成しています。今年度は制度の内容を一部見直すとともに名称を変更しました。

女性や若者の支援を充実

現在、全国的に起業する方は男性の壮年やシニアの方の割合が高く、女性や若者(35歳以下)は低くなっています。一方、起業を希望する方のうち女性の割合は増加し続けています。そこで市では、女性と若者の支援を充実させることで創業を促し、

【図2】起業希望者の男女の割合



中小企業庁「2014年版中小企業白書」から作成

7月1日から補助金の申込み受け付けを開始

助成内容

起業の促進や雇用の創出、産業の活性化等を目的に、年度内に市内で創業する方等に対して創業準備金の2分の1以内(上限20万円(満40歳未満または女性の方は上限30万円)および貸室に係る月額賃料の2分の1以内(上限3万円(満40歳未満または女性の方は上限5万円))を助成します(賃料の補助は1年間)

対象

平成28年度内に新たに創業したか、または創業しようとする方(一部業種を除く)

申込み

7月1日(金)～29日(金)に産業支援課に要望書を提出してください。応募者多数の場合は書類審査のうえ抽選を実施

詳細は産業支援課にお問い合わせください。

要望書は産業支援課で配布しているほか、市ホームページと「こしがやインターネット」から印刷できます

産業支援課(産業雇用支援センター3階)

967114680

補助制度利用者の声



Cafe & Dining ARISTAR (弥生町17-1 越谷ツインシティAシティ2階)

渡部 孝則さん

昨年4月にカフェを開店し、続けてネイルサロンと教育事業も始めました。いずれも子育て中の女性をターゲットとしています。現在、およそ20人の方をパートとして雇用しています。市からの家賃補助の分を経営資金に回せるので助かります。私の周りにも事業を立ち上げたいという方がいますが、主に資金面がネックとなっており、踏み出せない場合が多いようです。

また、市や国の補助金を申請する際に事業計画や収支計画を作成する必要がありますが、越谷商工会議所に相談しました。直接アドバイスもいただいたことで、座学とは違う発見がありました。今後、事業を展開し、子どもたちが社会に出たときに役立つ知識やスキルを学べる場を作りたいと思っています。



「越谷で創業したので、越谷の皆さんの役に立てるような事業をしたい」と語る渡部さん(右)

創業への第一歩 創業セミナーを開催

補助制度のほか、専門家による創業セミナーを開催しています。今年度は、基礎的知識の習得から計画作成までを支援する「創業塾」のほか、コミュニティビジネスをテーマとしたものなど創業に関する幅広い内容で開催します。

また、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携し、女性を対象とした創業支援セミナーの開催を予定しています。

「まずは話だけでも聞いてみたい」という方はぜひお越しください。



産業支援課へお越しの方へ

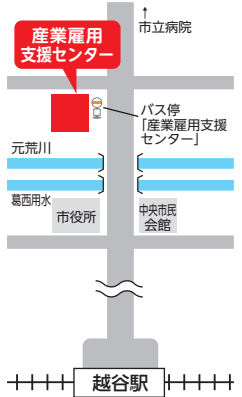
【所在地】東越谷1-5-6

産業雇用支援センター3階

東武スカイツリーライン越谷駅東口から徒歩約10分(バス利用の場合は越谷駅東口から越谷市立病院方面のバスに乗り、産業雇用支援センターで下車)

【利用時間】午前8時30分～午後5時15分

(土曜・日曜日、祝日、年末年始を除く)



産業雇用支援センター